

最新農業技術・品種2020



「最新農業技術・品種2020」 選定成果一覧

<農林水産省ホームページ>

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/new_tech_cultivar/2020/index.html

※読み取れない場合は、直接URLを入力願います



2. 水稻の流し込み施肥による穂肥施用方法

- 従来の穂肥作業と比較して、作業時間の64～83%、施肥コストの4～25%削減が可能



導入をお勧めする対象

水稻栽培農家、大規模農業法人、兼業農家等、灌漑水量の少ない地域

研究代表機関

長野県農業試験場環境部

1. デジタル画像化したCOD 簡易比色値から水田土壌の可給態窒素量がわかる

- 簡易キットとデジタルカメラの撮影により、土壌可給態窒素含量を簡易に推定



導入をお勧めする対象

全国の農業改良普及指導機関、JA営農指導機関

研究代表機関

宮城県古川農業試験場

3. 短鎖アミロペクチンにより餅の柔らかさが画期的に持続する水稻新品種「愛知糯(もち)126号」

- 栽培しやすく、大福などの和菓子、丸餅、米粉パンで多様なニーズに応える糯品種



導入をお勧めする対象

コシヒカリ栽培地域及び中山間地域

研究代表機関

愛知県農業総合試験場

4. 倒伏に強く多収のインゲンマメ(金時類)新品種「秋晴れ」

- 倒伏に強い多収品種で、煮豆等は実需者からも高い評価



秋晴れ

大正金時

導入をお勧めする対象

北海道のインゲンマメ栽培地帯

研究代表機関

北海道立総合研究機構

6. 大幅省力化が可能なサトイモ子いも分離機

- 手作業の1/4～1/5の作業時間でサトイモの親いもと子いもを分離



導入をお勧めする対象

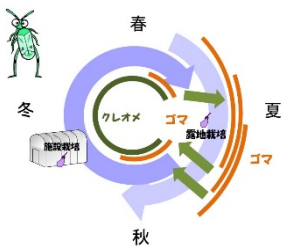
早生品種「石川早生丸」及び子・孫いもの着生が多い品種を栽培する生産者

研究代表機関

鹿児島県農業開発総合センター

8. 捕食性天敵タバコカシムカメをナスの周年栽培体系で利用する技術「ゴマまわし」

- ミナミキイロアザミウマ等の防除に使用する化学農薬が削減可能



導入をお勧めする対象

西南暖地におけるナスの周年(露地と促成)栽培生産地

研究代表機関

徳島県立農林水産総合技術支援センター

10. 夏期高温期の湛水によるタマネギベと病の一次伝染抑制技術

- 夏期の高温期に圃場を湛水することで玉ネギベと病の一次伝染株の発生を抑制



導入をお勧めする対象

佐賀県、兵庫県、長崎県、その他西日本の水田での玉ねぎ秋播き栽培生産者

研究代表機関

佐賀県農業試験センター・白石分場

5. 甘みが強い落花生新品種「Qなっつ(千葉P114号)」の開発

- ショ糖含有率が高く、煎り莢・煎り豆での食味が優れる



導入をお勧めする対象

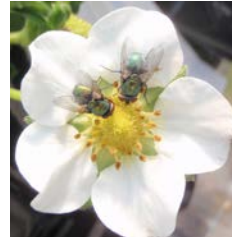
国内の落花生生産地域

研究代表機関

千葉県農林総合研究センター

7. イチゴの新たな花粉媒介昆虫としてのヒロズキンバエの利用

- ミツバチの活動不足や過剰訪花による奇形果発生を低減させることが可能



導入をお勧めする対象

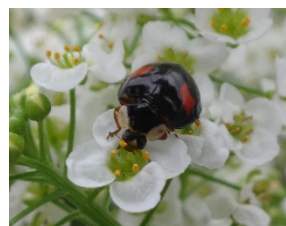
ミツバチの活動不足や過剰訪花が生じる栽培施設を有するイチゴ生産者

研究代表機関

奈良県農業研究開発センター

9. 飛ばないナミテントウの定着を促進する代替餌システム

- 飛ばないナミテントウの放飼回数や総放飼頭数を半分程度に削減可能



導入をお勧めする対象

飛ばないナミテントウ製剤を利用している施設ナス等の生産者
施設ナス等の生産地で天敵利用が進められている地域

研究代表機関

農研機構 西日本農業研究センター

11. 省力的な栽培が可能で、大果で日持ち性に優れた多収性イチゴ品種「恋みのり」

- 適度な果房当り果数で、果実の揃いがよく、高い商品化率が期待できる



導入をお勧めする対象

イチゴ生産者、消費者
熊本県、長崎県等の全国の促成栽培地

研究代表機関

農研機構 九州沖縄農業研究センター

12. 花粉使用量を大幅に削減できる静電風圧式受粉機の開発

- 作業能率が高く、花粉使用量を半減することが可能



導入をお勧めする対象
全国の果樹生産者
(キウイフルーツ、ナシ、
リンゴ、スモモ)

研究代表機関
静岡県農林技術研究所

14. ニホンナシ「あきづき」および「王秋」の果肉障害対策マニュアル

- コルク状果肉障害および水浸状果肉障害抑制の対策をマニュアル化



導入をお勧めする対象
埼玉県、鳥取県、熊本県、その他
ナシ生産の多い都道府県

研究代表機関
農研機構 果樹茶業研究部門

16. ナシ黒星病の被害軽減のための農作業機械を用いた落葉処理技術

- 適切な落葉処理によるナシ黒星病の被害低減技術をマニュアル化

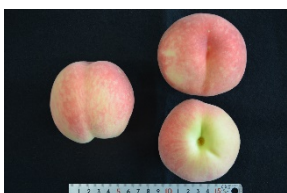


導入をお勧めする対象
ナシ黒星病が恒常的に発生している
全国のニホンナシ生産者

研究代表機関
富山県農林水産総合技術センター
園芸研究所果樹研究センター

18. 冬の気温が高くても栽培可能で品質優良なモモ新品種「さくひめ」

- 低温要求時間が短いため、冬の気温が高くても栽培可能



導入をお勧めする対象
宮崎県・熊本県などのモモ
生産地
西南暖地及び施設栽培

研究代表機関
農研機構 果樹茶業研究部門

13. “<w天>防除体系”～薬剤抵抗性が発達しにくい、天敵が主役の新しい果樹のハダニ防除

- 土着天敵と天敵製剤の合理的活用で殺ダニ剤への依存を大幅に削減



導入をお勧めする対象
全国の果樹生産農家(リンゴ、
オウトウ、ナシ、施設ブドウ、
施設ミカン等)

研究代表機関
農研機構 果樹茶業研究部門

15. ブドウの鳥獣害対策を省力・安全化する「果実保護ネット」

- 傾斜地や狭い圃場、高齢者や初心者でも短時間に設置できる防鳥獣対策



導入をお勧めする対象
全国のブドウ生産者ならび
に一般者

研究代表機関
農研機構 果樹茶業研究部門

17. 早生、良食味で外観美麗なカンキツ新品種「みはや」

- 11月下旬に成熟する早生品種で、酸味が少なく食味が優れる



導入をお勧めする対象
ウンシュウミカン生産者
熊本県、福岡県、長崎県など九州
地域を中心としたカンキツ産地

研究代表機関
農研機構 果樹茶業研究部門

19. 畜産経営における臭気低減対策評価方法の確立

- ニオイセンサとGPSにより、臭気の分布とその強弱を視覚化する「臭気マップ」を考案



導入をお勧めする対象
全国の臭気低減対策を
必要としている畜産農家
及び関係者

研究代表機関
栃木県畜産酪農研究センター

20. 茶園管理機械の「無人自動走行作業システム」の開発

- 茶樹を各種センサで検知し操舵することで、ミリ単位の精度で茶摘み作業が可能



導入をお勧めする対象
乗用型管理が可能な茶生産地

研究代表機関
鹿児島県農業開発総合センター

21. 自動運転田植機

- 精度の高い田植え作業と苗補給を1名で実現することが可能



導入をお勧めする対象
全国の米生産者や農機メーカー、制御機器メーカー

研究代表機関
農研機構 農業技術革新工学研究センター

22. 直線作業アシスト装置

- GPSを使わずに画像処理によりトラクターの直線作業をアシスト



導入をお勧めする対象
本州以南地域の中小型トラクターを扱う生産者

研究代表機関
農研機構 農業技術革新工学研究センター

23. 野菜用高速局所施肥機

- 畝内の上層と下層に二段で施肥することにより、植物体に効果的な施肥を実現

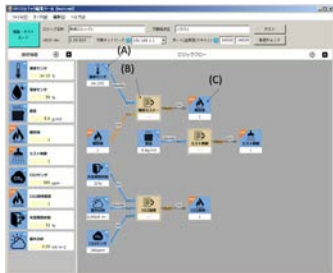


導入をお勧めする対象
全国のキャベツ大規模生産者

研究代表機関
農研機構 農業技術革新工学研究センター

24. 施設園芸向けUECS対応複合環境制御ロジック開発用ソフトウェア

- 温室内の複雑な環境制御を視覚的にわかりやすく表示、編集することが可能



導入をお勧めする対象
全国の農業試験場、大学、研究機関、生産者

研究代表機関
農研機構 西日本農業研究センター

25. 予測を含む気象データを利用した水稻、小麦、大豆の栽培管理支援システム

- 発育予測や施肥診断等によって生産管理の効率化、農業のスマート化に貢献



導入をお勧めする対象
水稻・小麦・大豆生産者、普及機関、JA営農指導員、公設研究機関等

ICTベンダー、農業機械メーカー

研究代表機関
農研機構 農業環境変動研究センター

26. 有機農業実践現場の研究事例に基づく安定栽培マニュアル

- 有機農業を始める方などに生産安定化に役立つ技術を紹介



導入をお勧めする対象
有機農業に取り組む生産者
普及指導機関担当者

研究代表機関
農研機構 中央農業研究センター

27. 6次化商品の販路開拓方策「ローカルネット販売」

- 地方都市部のスーパーマーケットが開設したネットスーパーと連携し、新たな販路を開拓



導入をお勧めする対象
全国の中山間地域を有する都道府県

研究代表機関
農研機構 西日本農業研究センター